

1. 科目名 (単位数)	授業研究 (総合学習を含む) (2 単位)		3. 科目番号	SJMP3297 EDEL2320
2. 授業担当教員	攪上 哲夫			
4. 授業形態	講義・グループ協議・発表・レポート作成など	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>この講義は、「小学校で実践されている授業についての研究」と「総合的な学習の時間」の内容について学習を深める。</p> <p>小学校での教育が目指す方向性について学習指導要領の趣旨や目指すべき学力観について正しく理解するとともにより良い授業を目指すために「評価」という観点から考察検討していく。</p> <p>小学校教育の基本は「授業」であり、授業にかかわる児童の姿や教師の教材研究などについて授業実践例を基にして考えを深めたいと考えている。</p> <p>さらに「総合的な学習の時間」に関しても、その内容や具体的な事例などを踏まえて、「総合的な学習の時間」の進め方などを踏まえて実践する。</p>			
8. 学習目標	<p>(1)学習指導要領の趣旨や内容を理解する。</p> <p>(2)目指すべき学力観について理解する。</p> <p>(3)授業の評価の実際について理解する。</p> <p>(4)「総合的な学習の時間」の趣旨、内容を理解し、主体的に学ぶ総合的な学習の時間の流れを、実践を通して理解する。</p>			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業において以下のテーマを取り上げるが、参考文献よりさらに詳細に考察し 2000 字程度のレポートを作成すること。</p> <p><課題レポート></p> <p>1. 「反省的授業」とは何か、「技術的实践」と対比させながら述べなさい。(課題レポート①)</p> <p>2. 授業研究の歴史と現在について述べなさい。(課題レポート②)</p> <p><小レポート等></p> <p>授業進度に応じて学習指導案、模擬授業振り返りカード、小レポートを課す。</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】</p> <p>稲垣忠彦・佐藤学著『子どもと教育 授業研究入門』岩波書店、2013 年。</p> <p>【参考書】</p> <p>田中耕治編『よくわかる授業論』ミネルヴァ書房、2007 年。</p> <p>東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。</p> <p>課題に即したプリントを配布する。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 授業研究の理論や方法について理解し、授業の改善・充実について自らの考えを深めることができる。</p> <p>2. 教材研究や模擬授業等を通して、実践的に授業研究を進める基礎を身に付けることができる。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1. 授業への積極的参加 (模擬授業を含む) 総合点の 40%</p> <p>2. 課題レポート 総合点の 40%</p> <p>3. 期末テスト 総合点の 20%</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>学校教育は、子どもの人格形成を培う場であり、「授業」はその中心的要素といえます。近年、学習指導の方法等について、中央教育審議会から答申が出され、児童生徒の主体的な学びを重視した新しい学習指導要領に改訂されました。こうした教育の変化に対応していくことは重要ですが、基本的に児童とどう向き合っていくか、単なる授業テクニックを取得するだけでなく、教師の授業姿勢などについて、ともに考えていきたいと思えます。「うまい授業」を心掛けるのではなく、「自分なりの授業」をまずは創造していきましょう。</p>			
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	テキスト「プロローグ 教師としての証を求めて①」を読み、授業に苦悩する教師の現実について考える。	事前学習	授業研究入門 (pp. 1~11) を読み、苦悩する教師について予備知識を持つ。	
		事後学習	小学校で習った国語科教材の中から、印象に残った作品を再読し、音読の練習をする。	
第 2 回	テキスト「プロローグ 教師としての証を求めて②」の中の「達也」の発言から授業と子ども関係について考察する。国語科「音読指導」課題作品より、音読指導の実際について考える。略案の作成。	事前学習	授業中に苦戦をしている子どもの事例を集める。	
		事後学習	音読指導の実際について学習指導要領よりまとめる。	
第 3 回	テキスト「第 1 章 授業という実践①授業の三つの側面」レポーターの発表、質疑を行う。 国語課題教材、音読模擬授業	事前学習	「授業研究入門」(pp. 15~22) を読み、授業の三つの側面について予備知識を持つ。	
		事後学習	音読の基礎的技能について振り返る。	

第4回	テキスト「第1章 授業という実践② 教師と子どもの関係を見直す」レポーターの発表、質疑を行う。 算数科教材「割り算」授業の展開、略案の作成	事前学習	「授業研究入門」(pp.23~47)を読み、教師と子どもの関係について予備知識を持つ。
		事後学習	「等分除・包分除」の意味を再確認する。
第5回	テキスト「第1章 授業という実践③ 出来事へと開かれること」レポーターの発表、質疑を行う。 算数科模擬授業「割り算」	事前学習	「授業研究入門」(pp.48~57)を読み、出来事と教師の関係について予備知識を持つ。
		事後学習	算数学習の目標を学習指導要領よりまとめる。
第6回	テキスト「第1章 教室の時間と空間を編み出す」レポーターの発表、質疑を行う。 社会科教材「見学学習」の進め方	事前学習	「授業研究入門」(pp.58~84)を読み、「教室の時間」についての予備知識を持つ。
		事後学習	社会科教材「見学学習指導略案」を作成する。
第7回	テキスト「第1章 授業における省察と反省」レポーターの発表、質疑を行う。 社会科模擬授業	事前学習	「授業研究入門」(pp.85~90)を読み、反省的授業についての予備知識を持つ。
		事後学習	社会科の目標を学習指導要領よりまとめる。
第8回	テキスト「第1章 見える実践と見えない実践」レポーターの発表、質疑を行う。 理科教材「観察学習」の進め方	事前学習	「授業研究入門」(pp.90~100)を読み、見える実践と見えない実践について考える。
		事後学習	理科教材「観察学習指導略案」を作成する。
第9回	テキスト「第1章 実践的な指導様式とその特徴」レポーターの発表、質疑を行う。 理科模擬授業	事前学習	「授業研究入門」(pp.101~114)を読み、実践的な思考様式についての予備知識を持つ。
		事後学習	理科の学習の目標を学習指導要領よりまとめる。
第10回	テキスト「第1章 授業研究の課題と様式」レポーターの発表、質疑を行う。 「総合的な学習の時間」とは何か	事前学習	「授業研究入門」(pp.115~139)を読み、授業研究の課題と様式についての予備知識を持つ。
		事後学習	「総合的な学習の時間」の先進校を調べる。
第11回	テキスト「第2章 授業研究の歴史と現在」①レポーターの発表、質疑を行う。 「総合的な学習の時間」先進校の取り組みを発表する。	事前学習	「授業研究入門」(pp.143~166)を読み、授業研究の歴史について予備知識を持つ。
		事後学習	「総合的な学習の時間」の目標を学習指導要領よりまとめる。
第12回	テキスト「第2章 授業研究の歴史と現在」②レポーターの発表、質疑を行う。 「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」の意味するところとは何か。	事前学習	「授業研究入門」(pp.166~183)を読み、授業研究の現在についての予備知識を持つ。
		事後学習	変わりゆく「道徳」について、どのような変化が起こるのか、レポートをする。
第13回	テキスト「第2章 授業研究をどのように変えていくか」レポーターの発表、質疑を行う。 「体育科」の指導 小学校運動会の実践	事前学習	「授業研究入門」(pp.184~200)を読み、事例研究をどのように変えていくかの予備知識を持つ。
		事後学習	準備運動「ラジオ体操」模範指導を練習する。
第14回	テキスト「第2章 校内研修」レポーターの発表、質疑を行う。 「体育科」模擬授業	事前学習	「授業研究入門」(pp.201~237)を読み、校内研修の予備知識を持つ。
		事後学習	「体育科」の目標について、学習指導要領よりまとめる。
第15回	テキスト「エピローグ」を確認する。 次期学習指導要領の方向を確認する。	事前学習	「授業研究入門」(pp.239~250)を読み、著者の主張をまとめる。
		事後学習	次期学習指導要領の方向について調べ、まとめる。

期末試験